

第5回 新沖縄発展戦略有識者チーム会議

①日時：令和元年11月11日（月）14：00～16：30

②場所：県庁6階第1特別会議室

③参加者：

有識者チーム メンバー	富川盛武	沖縄県副知事
	池宮城秀正	明治大学名誉教授 元沖縄県政策参与
	前村昌健	沖縄国際大学教授
	上妻毅	(一社)ニュー・パブリック・ワークス代表理事
部局連携員	下地正之	土木建築部 参事監
	伊集直哉	商工労働部 産業雇用統括監
報告者	文化観光スポーツ部 MICE 推進課	
	(株)国建	
	(株)URリンゲージ	
	企画部 交通政策課	
事務局	企画部 企画調整課	
	(株)おきぎん経済研究所	
	ブルームーンパートナーズ (株)	

④議題等：

(報告事項)
1 前回会議の議事概要、論点について ・前回の振り返りコメント（各委員）
(議題)
2 「MICE、東海岸サンライズベルト構想等」について ・MICE 推進課、東海岸サンライズベルト構想関連事業 受託事業者 ・各委員の発表事項、コメント
3 「鉄軌道、交通渋滞等」について ・交通政策課 ・各委員の発表事項、コメント
4 今後のスケジュール等について（事務局） ・視察について

⑤議事概要（主な意見等）：

「MICE、東海岸サンライズベルト構想等」、「鉄軌道、交通渋滞等」に関する取り組み状況について、沖縄県の関係課担当者から説明を受け、意見交換等を行った。

主な意見等は下記のとおり。

- 10年先の均衡ある県土に向けては、西の58号線、東のサンライズベルト、真ん中の鉄軌道による3本の背骨の形成が重要である。
- 交通テクノロジーの大きな変化が、今の交通体系に相当のインパクトを与えると考えられる。MaaSやCASEといったテクノロジー、ITを利用した交通体系による影響（自動運転やシェアリング等による車保有台数の減少）なども予見していく必要がある。